

平成 1 8 年 度 学 校 公 開 研 究 会

英 語 科 学 習 指 導 案

Multi Plus 1 わたしの夢

1 校 時 2 年 2 組



授 業 者 丸 橋 友 之

盛 岡 市 立 上 田 中 学 校

# 英語科学習指導案

指導者 丸橋 友之

1. 日時 平成 18 年 7 月 7 日 ( 金 ) 1 校時
2. 学級 2 年 2 組 男子 20 名 女子 16 名 合計 36 名 南校舎 2 階
3. 主題 NEW HORIZON English Course Book 2 Multi Plus 1 わたしの夢
4. 主題について

Multi Plus1 は、Unit 3、Listening Plus 3、Writing Plus 2 学習後の発展的かつ実践的な内容になっている。Book2 では初めての Multi Plus であり、不定詞のみならず既習事項を駆使できる題材である。Unit 3 で「不定詞の副詞的用法・名詞的用法」を新出文法事項として扱ったあとに、「自分の夢」を英語で語る活動を通してそれらを統合的に使用することになる。Unit 3 の題材内容は、コンピューターを通してアジアの人々とコミュニケーションを図る中で、「マンガ」という共通の話題で情報交換をしている。さらに Listening Plus 3 では日本、韓国、アメリカの中学生の意識の違いを「家事」という 1 つの話題で比較している。本単元では "I want to be ~ ." を用いて自分のなりたい職業を挙げ、さらに既習事項を用いてその理由を述べることになる。基本的には「自分のこと」を述べる教材であるが、これまで他国の子供達の「マンガ」や「家事」に対する意識という日本の子供達のそれと共通する話題で話が進んできており、さらに本主題の最後に掲げられている "Challenge" では日本、アメリカ、中国の中学生の職業に関する意識調査の記事を扱っている。このことから「個人の夢」だけではなく、「他国の子供達の夢」を知る活動も取り入れ、他国の子供達も、自分たちと同じような夢を持って生きていることを理解させられる。またそのことで国境を越えて世界の子供達一人一人が、将来の夢を持って生きていることを認識させられる貴重な教材である。

2 年 2 組の生徒は授業に対する姿勢が非常に積極的であり、発言が多く、他を尊重しながら言語活動を行う。自己表現の場面ではできるだけ自分の表現したいことを具体的に話したり書いたりしようとする姿勢がある。Unit 3 の不定詞の学習では副詞的用法の定着が不十分であった。これは語順の問題が大きく、例えば "I use a computer to play games. ( 私はゲームをするためにコンピューターを使う。 )" の文で、目的をあらわす語句の位置が日本語と英語では大きく違うことが主な原因ととらえられる。日本語と英語の文中で「行為と目的」のそれぞれのまとまりの違いを明確に指導する必要がある。一方 "I want to find some e-pals." のような「want to + 動詞の原形」を核とする不定詞の名詞的用法を含む文は比較的理解できている。しかしながら総合的な活動の中での運用段階になると「したいことがあるのに不定詞を用いて表現することに気がつかない」などの問題が生じる可能性がある。アンケートの結果から、将来なりたい職業または憧れている職業を全員が挙げている。しかしその理由は「やりがいがありそう」「かっこいい」「なんとなく」などと漠然としており、具体的な理由を不定詞を用いて表現しにくいことが予想される。

以上のような教材の性質と生徒の実態から、Multi Plus 1 では、自分の夢を表現する "I want to be ~ ." を言語活動の中心としながら、その理由を職業の性質の側面から整理し、これまで学習した文型を用いて 4 技能をバランスよく使ったコミュニケーション活動を展開したい。活動を通して、不定詞をまとまりのある文章の中で正確に運用できる力と、相手と会話をつなげて課題解決を図る力を高め、既習事項を中心に自分の考えを工夫して表現しようとする姿勢を養いたい。また世界中の子供達がどんな国の状態にあっても自分たちと同じような将来の夢を持ちながら同じ時代に生きていることを理解させたい。

## 5. 指導と評価の計画 (別紙)

## 6. 本時の達成目標

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	言語活動で、伝えあう相手を意識して、話そうとしている。
理解の能力	相手のなりたい職業やその理由を、日本語を用いずに、聞き取っている。
表現の能力	自分の考えを、表現集をよりどころにして、まとめている。
表現の能力	不定詞や既習事項を用いて、伝えたい情報を、正確に伝えている。

## 7. 本時の指導の構想

### (1) 本時の構想及び留意点

本時ではまず読み取りの活動から入る。諸外国の子供達の将来なりたい職業とその理由を、まとまりのある文章中から読み取らせる。全ての情報を読み取らせるのではなく、観点を与えて必要な情報だけを短時間で読み取り、その情報をグループ内で情報交換することで Practice 活動とする。またこの活動の中で諸外国の子供達の夢が、自分たちと同じようなものであり、子供達の心の国境は存在しないことに気づかせたい。次に Production の活動として、自分の夢を英文にし、フォーマットに従ってペアで対話活動をする。その中で聞き慣れない職業名については聞き返しをさせたり、聞き返された側は可能な限り日本語を使わずに職業内容を説明させたい。また学級の仲間がいろいろな夢を持って生きていることに気づかせたい。

### (2) かかわり合いをいかす手だてについて

本時では「生徒同士」のかかわり合いを大切にしたい。自分の仲間は進路についてどのように考えているのかを英語で情報交換することで表現の定着を図る。そのためにまず諸外国の子供達の情報を獲得させ、それを伝達させる。その理由は不定詞の名詞的用法や副詞的用法の復習とその練習をすることにあり、さらにそこで獲得した表現形式が自分たちの夢を英語で説明するときのよりどころにつながる。しかしながら練習で獲得した表現形式だけでは 36 名分の自己表現に対応できないので、前時で確認したその他の表現を提示する必要がある。これらのよりどころをもとにして「わたしの夢」を英語で表現させる。活動中はできる限り英語を使わせたい。それはターゲットセンテンスの使用だけでなく、単語の意味やスペリングがわからないなどの問題や、相手が自分の話したことを理解してくれない場合に別な表現で言いかえるなどして英語を豊富に使用させたい。

8. 本時の展開

A 達成度 B 学習速度 C 取り組み方 学習の仕方  
D 見方・考え方 E 興味・関心 F 生活経験

段階	過程	時間	学習活動	評価の視点・方法	指導上の留意点	学習形態・教材・教具
導入	学習課題把握	5	1.前時の復習をする。 2.学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">自分の夢を英語で語り合おう</div>		1.音読と日本語による内容確認で本時のよりどころとなる言語材料の確認をする。 A	1.教科書
展開	ブラクティス  プロダクション	40	3.指定された国の情報を読みとり、フォーマットに従ってまとめる。 4.グループになり、まとめたものの確認や補足をし、まとめた情報を他に伝えられるように練習する。 5.母集団に戻り、情報を伝えあう。	6.[表現の能力](書く) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 2px;">表現集をよりどころとして自分の考えをまとめている。</div> 記述内容 A:具体的な理由記述 3文以上 C:言いたいことに近い内容を板書やシートから選択する。	3.キーワードに気づかせ、必要な情報だけ読み取る指示をする。 D 4.国別グループで話し合いになりたい全員がレポートできるように練習させる。 A 5.聞き側には表現を選択させる。 B 6.前時で整理した日本語による理由の表現をよりどころに、これまでの活動で獲得した表現や表現集を用いて、他にも理解できるように自分の考えに近い表現にさせる。 D 7.挨拶、聞き返し、言い換えなどの表現を場面とともに指導する。 A・F	3.各国情報シート 読み取りシート 4.国別グループ 5.4人グループ 聞き取りシート 6.個別 対話シート
			6.自分になりたい職業とその理由を英文にする。 7.フォーマットに従って対話練習をする。 8.様々なペアを組み、自分になりたい職業とその理由を情報交換する。			
終末	まとめ	5	9.自己評価をする。		9.授業の感想を発表させる。 A・E	9.評価シート

2 年 英 語	単元（題材）名 Multi Plus 1 わたしの夢	総時間 2 時間扱い
---------	----------------------------	------------

学習指導要領の指導事項

- A(聞くこと) ウ 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。
- B(話すこと) ウ 聞いたり読んだりしたことについて，問答したり意見を述べ合ったりすること。
- C(読むこと) ウ 物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること。
- D(書くこと) ウ 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くこと。

単元の目標	主な学習活動	評価規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	理解の能力	表現の能力	言語や文化の知識・理解
諸外国の子供達の将来の夢とその理由を読み取って他と情報交換するとともに，自分の将来について考え，英語で表現できる。	諸外国の子供達の進路希望を資料から読み取りグループ内でレポートする。 自分のなりたい職業とその理由を英語にし，他と情報交換する。	B = 「おおむね満足できると判断される状況」	言語活動で，伝えあう相手を意識して，話そうとしている。	相手のなりたい職業やその理由を，日本語を用いずに，聞き取っている。	表現集をよりどころとして自分の考えをまとめている。 不定詞や既習事項を用いて，伝えたい情報を，正確に伝えている。	不定詞を用いて自分のなりたい職業を英文で正しく表現している。
		A = 「十分満足できると判断できる状況」の例	場面に応じて聞き返しをしている。	相手のなりたい職業やその理由を，聞き返したり推測しながら聞き取っている。	なりたい理由を，既習の文型で表現できるように，自分の考えを整理して書いている。 発表原稿に頼りすぎずに対話している。	理由の英文を，不定詞や既習の文型を用いて正しく書いている。
		C = 「努力を要すると判断される状況」の生徒への指導の手だての例	表現集を手がかりにして教師にリピートさせる。	読み取るべき語句を指示して考えさせる。	その職業になりたい理由を，教師との対話の中でまとめさせる。 例文に必要な語句を入れながら，教師の英語にリピートして発表させる。	理由の英文を，ふさわしい内容のフレーズを与えて表現させる。

次	時	主な達成目標	主な学習活動	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	理解の能力	表現の能力	言語や文化の知識・理解
1	1	なりたい職業とその理由を考え，日本語を整理しながら英文にできる	なりたい職業とその理由についての日本語を整理し，教科書や資料を用いて英文にする。				不定詞を用いて自分のなりたい職業を英文で正しく表現している。
	1 本時	必要な情報を探して読み取り，獲得した情報を伝達したり，自分の情報を発信できる。	諸外国の進路希望情報を読み取って相手に伝えたり，自分の情報を相手に伝える。	言語活動で，伝えあう相手を意識して，話そうとしている。	相手のなりたい職業やその理由を，日本語を用いずに，聞き取っている。	表現集をよりどころとして自分の考えをまとめている。 不定詞や既習事項を用いて，伝えたい情報を，正確に伝えている。	

What do the young adults of this confused world want to be when they grow up? We asked children in Damansara-Utama School in Malaysia

As a result of the survey, many boys said, "I want to be a police officer." And they also told the reason, "I don't like bad people. I want to help good people." But the answer from the girls was different. They said, "I want to be a doctor. I want to work for many people."

What do the young adults of this confused world want to be when they grow up? We asked children in Stabekk School in Norway.

As a result of the survey, many boys said, "I want to be a soccer player." And they also told the reason, "I like soccer. I want to play soccer every day." But the answer from the girls was different. They said, "I want to be a singer. I like singing and I want to please many people."

What do the young adults of this confused world want to be when they grow up? We asked children in Campo Charo School in Spain.

As a result of the survey, many boys said, "I want to be a soccer player." And they also told the reason, "Many people in this country like soccer. I want to impress many people." But the answer from the girls was different. They said, "I want to be a teacher. I like children and I like teaching. I want to work for children."

What do the young adults of this confused world want to be when they grow up? We asked many children in Brazil.

As a result of the survey, many boys said, "I want to be a lawyer." And they also told the reason, "I want to help many people." But the answer from the girls was different. They said, "I want to be a vet. I want to help sick animals."

# 自分の夢を語り合おう

Class No. NAME

職業	日
	英
なりた たい 理由	日
	英

# 自分の夢を語り合おう

Class No. NAME

職業	日
	英
なりた たい 理由	日
	英

## いろいろな国の子供達のなりたい職業を聞き取ろう

**国名【マレーシア】** 男子 ( ) 女子 ( )  
 悪人が嫌い 善人を助けてたい 多くの人々のために働きたい  
 サッカーが好きだ 毎日サッカーをしたい 歌うことが好き  
 多くの人を喜ばせたい 多くの人々を感動させたい 子供が好き  
 教えることが好き 子供達のために働きたい 多くの人々を助けてたい 病気の動物を助けてたい

**国名【ブラジル】** 男子 ( ) 女子 ( )  
 悪人が嫌い 善人を助けてたい 多くの人々のために働きたい  
 サッカーが好きだ 毎日サッカーをしたい 歌うことが好き  
 多くの人を喜ばせたい 多くの人々を感動させたい 子供が好き  
 教えることが好き 子供達のために働きたい 多くの人々を助けてたい 病気の動物を助けてたい

**国名【スペイン】** 男子 ( ) 女子 ( )  
 悪人が嫌い 善人を助けてたい 多くの人々のために働きたい  
 サッカーが好きだ 毎日サッカーをしたい 歌うことが好き  
 多くの人を喜ばせたい 多くの人々を感動させたい 子供が好き  
 教えることが好き 子供達のために働きたい 多くの人々を助けてたい 病気の動物を助けてたい

**国名【ノルウェー】** 男子 ( ) 女子 ( )  
 悪人が嫌い 善人を助けてたい 多くの人々のために働きたい  
 サッカーが好きだ 毎日サッカーをしたい 歌うことが好き  
 多くの人を喜ばせたい 多くの人々を感動させたい 子供が好き  
 教えることが好き 子供達のために働きたい 多くの人々を助けてたい 病気の動物を助けてたい

会話に必要な素材

- \* もう一度言ってほしい・・・ Pardon?
- \* 相手の言っている職業がわからない・・・ A (doctor)? What is it?
- \* 相手は説明できないらしいのでとりあえずスペリング聞いてあとで先生に聞く・・・ How do you spell it?
- \* 相手がこちらの要望に応えてくれたとき・・・ Thank you.
- \* 相手の説明を聞いてわかった・・・ I see. Thank you.

# 自己評価シート

2年 組 番 氏名

---

1. 声量やスピードなど、相手に伝わるように活動しましたか。

A:声量とスピードに気がついた B:声量に気がつけた C:自分のことで精一杯

2. 表現集を参考に、自分の考えをまとめて英文を書けましたか。

A:3文以上で詳しく書いた B:2文で書いた C:理由を書けなかった

3. これまで学習した内容を使い相手に伝えられましたか。

A:工夫して正確に伝えられた B:だいたい伝わっていた C:あまり伝わっていなかった

4. 相手の職業やその理由を日本語を使わないで聞き取れましたか。

A:聞き返したり予測して正確に聞き取れた B:だいたいわかった C:あまりわからなかった

5. 授業の感想（自分のこと 会話した相手のこと など）

# 自己評価シート

2年 組 番 氏名

---

1. 声量やスピードなど、相手に伝わるように活動しましたか。

A:声量とスピードに気がついた B:声量に気がつけた C:自分のことで精一杯

2. 表現集を参考に、自分の考えをまとめて英文を書けましたか。

A:3文以上で詳しく書いた B:2文で書いた C:理由を書けなかった

3. これまで学習した内容を使い相手に伝えられましたか。

A:工夫して正確に伝えられた B:だいたい伝わっていた C:あまり伝わっていなかった

4. 相手の職業やその理由を日本語を使わないで聞き取れましたか。

A:聞き返したり予測して正確に聞き取れた B:だいたいわかった C:あまりわからなかった

5. 授業の感想（自分のこと 会話した相手のこと など）